社会保障Ⅰ　７月10日（水）　３限目13：00～14：30

【国民負担率と社会保障財政】国民負担率の定義と水準、推移

第３章　社会保障の財政　第３節国民負担率/第４節 社会保障と経済

●リアクションペーパー＃10

学科名　　　　　　　　　学年　　　　学生番号　　　　　　　氏名

この回の講義の感想・この講義でわかったことなど、該当するものをチェックして下さい。（複数回答可能）。

1. 国民負担率・社会保障の経済効果について

□これまで関心がなかった。

□関心はあったがよく知らなかった。

□前から関心があり、よく知っていた。

□盛り沢山でよく理解できなかった。

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２. 国民負担率

□国民負担率とは、国民の税金や社会保険料などの支払いが所得に占める割合、

□国税（所得税・消費税など）＋地方税（住民税など）＋社会保険料）÷国民所得

毎年、財務省が公表している

□2020（R2)の国民負担率は44.6％（財政赤字込では49.9％）国税16.4％、地方税10.1％、社会保険料負担18.1％。こんなに高いとは知らなかった！

□しかし国民負担率は負担の指標＝社会保障サービスの大きさの指標ではない！点に注意。

□社会保障給付費の国民所得比＝どれだけ戻っているか？国民負担率40％に対し、社会保障給付費約30％。8割方戻っている！とも解釈できる。

３．社会保障の経済効果と課題

□生産波及効果：社会保障が充実することで直接・間接に物やサービスの生産が増える

□雇用創出効果：社会保障が充実することで新たに働く人が増える

□所得再分配効果：低所得の人や高齢者への給付⇒格差是正・貧困減少

□地域格差是正効果：介護分野などで地方で働く人を増やす、大都市との経済格差の縮小

□二次的効果：給付による所得の増加⇒支出の増加⇒生産波及効果・雇用創出効果。

□財源確保と人材確保が最大の課題！外国からの労働力受け入れ、待遇改善、労働環境の整備、パワハラ・セクハラ対策！

４.自分の将来の仕事としてみた場合の問題点

□賃金水準の改善を期待する

□労働条件（勤務時間・休日など）の整備を期待する

□肉体的・精神的負担の改善を期待する

□キャリアアップの可能性を期待する

□できれば、違う仕事に付きたい。